

# 一 示範農高育成計劃 (要約)

## 1 目的

1) 農業近代化<sup>1</sup> 意<sup>2</sup> 核心的 自營 農業人 養成

2) 新<sup>3</sup> 農業指導者 養成

## 2 方針

1) 全國<sup>4</sup> 12個 示範農校 指定

2) 農高<sup>5</sup> 運營體制 改善

3) 運營協談會 設置運營 (中央<sup>6</sup> 及 地方)

4) 農林部<sup>7</sup> 協談 運營

5) 農林部 施設<sup>8</sup> 及 農業指導者<sup>9</sup> 及 農高施設<sup>10</sup> 及

6) 教員<sup>11</sup> 相互活用

7) 優秀教師 集中 配置

(2)

ニ 斗 70名斗 実習 現場 実習 実施

ホ 斗 寮 宿舍 施設 收容

ハ 斗 新入学生 送定 基準 設定

ト 斗 卒業生<sup>ク</sup> 営農 支援 支援

チ 斗 施設斗 短期補充 計画 推進

3. 施設斗 短期補充 所要 予算

単位: 1,000 円

対象学校数	区分	基準率	保有	不足	備考
9 校	外部	394,040	145,200	248,820	
	内部	158,546	23,677	134,869	(外資)
	計	552,586	168,877	383,689	

\* (1) I.D.A. 借款対象 3個校 除外

(2) 演習林 実習農場 除外

# 示範農高育成計劃

## 1. 目的

- 1) 農村近代化를 爲한 核心的 農業人 養成과 <sup>새로운</sup> 新인 <sup>세력</sup> 세력  
은 農業技術普及
- 2) 農村指導士와 農村指導機關의 <sup>체계</sup> 體系 <sup>개선</sup> 改善으로 農業  
생산 <sup>협동</sup> 協同의 效率的인 推進

## 2. 到達目標

- 1) 先行的 對子科 自營農高 有能한 農村指導者 養成
- 2) 農高의 運營體制 改善

## 3. 示範農高指定

1972年度에 12所 示範農高를 指定 (學校別  
現況 別表와 같이)